

3 安心・安全な地域社会をつくる

【施策展開の方向性】

暮らしを支える消費生活や地域活動など生活基盤の確保・充実を始め、教育環境づくりや女性や高齢者の活躍促進、子育て支援、保健医療福祉サービスの充実を図っていくとともに、三河の山里サポートデスクを拠点とした集落間の連携強化を図りながら安心・安全な地域社会をつくっていく。

【主な取組】

(1) 生活基盤の確保・充実

- 社会環境の変化に対応した商店街の商機能の強化を図るための取組や商店街の地域コミュニティの担い手としての機能を強化する取組及び商店街の担い手育成と外部人材の積極活用への取組等に対して支援していく。(産業労働部)
- 公共交通機関の空白地域における高齢者の買い物支援について、市町村がコミュニティの実情に合わせた施策を実施していくにあたり必要な支援を行っていく。(振興部)
- 公民館、コミュニティセンター、スポーツ・レクリエーション施設等の施設については、住民活動の拠点として複合的な機能を持ったものとして市町村による整備を促進するとともに、活動の活性化を図っていく。(振興部・教育委員会)
- 学校施設等については、地域活動の場等としてもより広く活用できるよう配慮するとともに、廃校となった施設等については、改造して宿泊施設や交流施設とするなど残された価値の積極的な活用を促進していく。(振興部・教育委員会)

(2) 地域に根ざした教育環境づくり

- 小規模校や複式学級を有する学校の増加に対応し、引き続き優れた教職員の確保及び教育環境の整備等に努め、教育水準のより一層の向上を図るとともに、遠距離通学者の便宜を図っていく施策の充実に努めていく。(教育委員会)
- 地域の枠を超えて小規模校の児童・生徒が集まり、共同で行う学習活動を通して社会性等を培う集合学習や、地域や都市の学校との交流によって、ふるさとへの愛情と誇りを育むふるさと交流活動など、教育の充実を図っていく。(教育委員会)
- 特別支援学校に通っている児童生徒の負担となっている長時間通学の解消を図るため、緊急性の高い学校から順次スクールバスの増車に努めるなど、負担軽減策を検討していく。(教育委員会)
- 地域に根ざした教育環境づくりを進めるため、市町村教育委員会への権限委譲を進めていくなど開かれた学校づくりを進めていく。(教育委員会)

(3) 女性や高齢者の活躍促進

- 女性の活躍に向けた企業の取組支援や企業経営者等の意識改革を図る取組を行っていくほか、「あいち・ウーマノミクス研究会」での議論を踏まえた施策を展開するなど、女性の活躍促進のための取組を推進していく。(県民生活部・産業労働部)

- 高齢者が自分の能力を発揮し、社会への貢献を実感することにより、生きがいをもって暮らせるよう、高齢者の知識、経験、技能等が有効に発揮できるような機会の整備を図っていく。(健康福祉部)

(4) 子育て支援の充実

- 子育て応援の日（はぐみんデー）の広報啓発や、協賛店舗等で様々な優待を受けることができる「はぐみんカード」の普及拡大等を進め、社会全体で子育てを応援する機運の醸成を図っていく。(健康福祉部)
- 身近な地域での保育機能の確保を図るため、地域型保育給付の拡充を図るとともに、地域の実情に応じた子育て支援（利用者支援、地域子育て支援拠点、放課後児童クラブ、一時預かり事業など）の充実を図っていく。(健康福祉部)
- ひとり親家庭の自立に向け、総合的な相談支援を始め、個々の就労状況や家庭環境に応じた就業支援、子育て・生活支援、経済的支援に取り組んでいく。(健康福祉部)
- 第三子以降の3歳未満児の保育料を無料化（軽減）する市町村に対し、その経費を補助するとともに、私立幼稚園等における第三子以降の満3歳児の授業料等の無料化に対して補助していく。(県民生活部・健康福祉部)

(5) 保健医療福祉サービスの充実

- 住民一人一人が「自分の健康は自分で創る」という自覚と認識のもとに実施する「健康づくり運動」を推進するため、保健所栄養士や歯科衛生士による人材育成や技術支援などの健康づくりをサポートしていく。(健康福祉部)
- 医療施設の整備については、地域医療を中心的に担っている足助病院、東栄病院及び新城市民病院の3つのへき地医療拠点病院及びへき地診療所について、引き続き施設整備及び設備整備について助成を行っていく。また、へき地診療所の運営について助成を行っていく。(健康福祉部)
- へき地医療拠点病院の行うへき地診療所への医師派遣事業等に助成を行うなど、医師の確保に努めるとともに、看護師その他の医療従事者の確保にも一層努力していく。(健康福祉部)
- 急病患者に係る救急医療については、一次救急となる休日・夜間診療所、在宅当番医制や二次救急となる広域的な病院群輪番制を積極的に活用するとともに、ドクターヘリ、救急医療情報システムによりその確保を図っていく。(健康福祉部)
- 老人福祉センターや高齢者生きがい活動推進施設等において、各種相談、レクリエーション等の便宜を総合的に提供する場や、生きがい活動実践の場などを提供する事業を効果的に取り入れるなど、施設の活用を促進していく。
また、広域的な観点から、各種福祉施設の機能を相互に有機的に連携することにより、施設の効果的な利用を図っていく。(健康福祉部)

(6) 集落間の連携強化

- 三河の山里サポートデスクを拠点として、集落間が連携し、互いに補完し合って機能確保する取組や、民間団体やNPO等によるコミュニティ機能を補完する取組の充実・強化を図っていく。(振興部)
- 愛知県交流居住センターによる三河山間地域へのUIJターンの促進を図っていくとともに、市町村における定住促進施策などを支援していく。(振興部)